

令和1年度 保育室ひかり 自己評価

保育所保育指針において、保育士及び保育所の自己評価並びにその公表が努力義務とされています。

このことを踏まえて保育室ひかりでは、保育の質の向上を図るために保育所の自己評価を実施しました。

評価の結果を踏まえて今後もより良い保育を提供できるように努力していきます。

*評価について

評価をするにあたっては、以下の基準で行いました。

- A・・・十分わかる 十分できている
- B・・・おおむねわかる おおむねできている
- C・・・あまりわからない やや不十分
- D・・・ほとんどわからない 改善を要する

*園全体の評価

園長交代の年となり、職員全員が新たな気持ちで保育に向き合う1年となった。

「保育所保育指針」について学ぶ機会を職員全員で設け、保育の質の向上につながるように臨んだ。来年度も引き続き行っていきたい。

食育は、夏野菜の栽培を行い収穫して給食時に食べ味わう経験をした。おにぎりやいも餅などのクッキングを行い楽しんだ。さつまいも掘りに畑にも出かけ、土の中から芋が出てくる体験を通して土に触れることを楽しむことが出来た。

保護者支援では、懇談会や個人面談を行い、また随時相談にのるようにし、保護者の気持ちに寄り添うように心がけた。

まだまだ取り組むことはあるが、丁寧な保育を行うことを心がけ職員一同努めていきたいと思う。

1.保育理念

	評価内容	評価項目ごとの 評価結果	具体的な取組及び考察
1	保育方針、保育姿勢をもとに日々保育を行っていますか。	A	・職員全体で、保育指針を学ぶ時間を持ち、共通理解をしている
2	保育目標にそった計画を立案していますか。またはねらいにそって保育をしていますか。	B	保育所保育指針に基づき、保育過程、年間保育計画、月案、週案を作成している
3	全体行事をきっかけにつながりある保育を実践していますか。	B	
4	子どもからのサインを見逃さず子どもの求めている援助ができましたか。	B	日頃から視野を広げて、子どもの動きを見るようにする
5	子ども一人ひとりのありのままを受け入れ肯定的に言葉がけをしていますか。	A	
6	人権に十分配慮するとともに文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるように配慮していますか	A	
7	子どもたちの中に人を信頼する気持ちが育つような関わりをしていますか。	B	
8	適切でない対応をしている他の職員の行為を目にした時、助言ができますか。	B	
9	他の職員や上司からの助言に対して素直に受け止め改善していますか。	A	
10	保護者・職員・地域の方との輪を大切にしていますか。	A	

2.子どもの発達援助援助 ア養護

	評価内容	評価項目ごとの 評価結果	具体的な取組及び考察
1	あなたは子どもが安心して自分をゆだねられる存在となっていますか。	B	
2	★そのためにはどのような配慮をしていますか。	<ul style="list-style-type: none"> • 甘えたい気持ちを受け止め、寄り添う • スキンシップを大切にす • 子どもの目線に合わせて、話を聞く 	
3	保育の主役は子どもであることを常に心に留めていますか。	A	
4	子どもの要求をその都度受け止めて対応していますか。	B	
5	子どもにわかりやすい言葉づかいで穏やかに話をしていますか。	A	
6	登園時に泣く子どもに対して、放っておいたり叱ったりするのではなく、子どもの状況に応じて抱いたり優しく声をかけたりしていますか。	A	
7	自分の気持ちをうまく表現できない子どもの心情を汲み取ろうとしていますか。	A	
8	子ども一人ひとりの発達状況と子どものおかれている事情を理解し保育を行っていますか。	B	一人一人の家庭状況を把握し、丁寧に対応する
9	命を預かる責任を持ち安全に過ごせるよう子ども一人ひとりを把握していますか。	A	
10	事故やケガ、体調の急変に対して適切な対応ができますか。	A	

2.子どもの発達援助援助 イ健康

	評価内容	評価項目ごとの 評価結果	具体的な取組及び考察
1	子どもの生活を24時間の連続したサイクルでとらえ、一日の生活がリズム良く、また無理なく過ごせるように配慮していますか。	A	<ul style="list-style-type: none"> • 時間や食事量を個別に合わせる • 午前寝をするなど、睡眠の足りない子のバランスをとる
2	子どもがのびのびと体を動かせるよう、時間、場所、遊びを毎日確保していますか。（自由時間）	A	<ul style="list-style-type: none"> • 園庭が狭いため、天気の良い日は、なるべく毎日散歩に出かけ体を動かす。
3	外遊びや散歩など戸外で遊ぶ機会を多く取り入れていますか。	A	
4	保育士自身が積極的に子どもと関わり遊んでいますか。	A	
5	お漏らしをした時、優しく対応し子どもの心を傷つけないよう配慮していますか。	A	
6	午睡時には子守唄を歌ったり、背中を軽くたたくなどして安心して心地よい眠りにつけるよう配慮していますか。	A	
7	衣服の着脱の際、せかしたり、着せてしまったりしないで自分でやろうとする子どもの気持ちを大切にしていますか。	B	
8	午睡時に眠くない子どもへの配慮をしていますか。	B	
9	★なかなか眠らなかつたり早く目覚めたときにはどうしていますか。		<ul style="list-style-type: none"> • ゆったりとした雰囲気の中で抱っこをする • 優しく背中をトントンしたり、さする。 • 別室で一人ひとりに合わせて別室で過ごす
10	子どもの病気やアレルギーについて必ず確認し対応していますか。	A	

2.子どもの発達援助 ウ食事

	評価内容	評価項目ごとの 評価結果	具体的な取組及び考察
1	食事の手洗いをするなど清潔習慣が身につくよう援助していますか。また自分も必ずしていますか。	A	
2	子どもが残さず食べることを強制したり、偏食を直そうと叱ったりしていませんか。又はイライラしたりせかしたりしていませんか。	A	<ul style="list-style-type: none"> 無理に食べることはせず、給食が楽しい時間となるようにしている
3	子どもが落ち着いて食事を楽しめるよう工夫していますか。	B	
4	時には雰囲気を変えて食べるなどの工夫をしていますか。	B	
5	栽培やクッキング活動に子どもたちの興味や関心が深まるよう努力をしていますか。	B	<ul style="list-style-type: none"> 野菜の絵本を見たり、本物の野菜を調理員に見せてもらう
6	子どもが配膳や片付けなどに参加できるよう、または関心が深まるよう配慮していますか。	B	
7	調理するところを見たり給食室職員とのつながりを築けるよう配慮していますか。	A	

2.子どもの発達援助 工人間関係

	評価内容	評価項目ごとの 評価結果	具体的な取組及び考察
1	保育士の言動の一つ一つを、子どもはモデルとして学んでいることを知っていますか。	A	
2	子どもをひとつの人格を持った存在として謙虚に接していますか。	A	
3	子どもが保育士や友だちと共に過ごすことを楽しめるよう配慮していますか。	A	
4	つまづきや葛藤、けんかなどの経験が成長に欠かせないものにとらえて適切に対応していますか。それを保護者にも伝えてありますか。	B	
5	異年齢の子どもとの交流が自然に行われていますか。	A	
6	子どもの気持ちを代弁し、相手の気持ちに気づくように援助していますか。	A	
7	自分が大切にされて育ってきたことや愛されている実感を感じられる機会をつくっていますか。	A	

2.子どもの発達援助 才環境

	評価内容	評価項目ごとの 評価結果	具体的な取組及び考察
1	遊びのスペシャリストになっていますか。	B	
2	★どのように努力していますか。	• 子どもの興味、発達に合わせた遊びを提供する	
		• 保育雑誌を参考にしている	
		• 自分自身が遊びを楽しみ、楽しさを共有する	
3	子どもが自然現象の不思議さに 気づけるよう一緒に調べたり考えたりしていますか。	B	<ul style="list-style-type: none"> • 散歩に行き自然に触れる • 冬にバケツに水をはり、氷を見たり、霜柱を踏んで楽しむ
4	自分の物や友だちの物、共同の物の区別に気づきものを大切にできるようにしていますか。	B	
5	毎日の活動の中で数や量などにふれる機会を意識してつくっていますか。	B	<ul style="list-style-type: none"> • 身近なものを使い、数や量に慣れ親しむようにする
6	子どもの発達に適した玩具や遊具を用意し好きな遊びができるようにしていますか。	B	<ul style="list-style-type: none"> • 成長や発達に合わせて玩具の入れ替えを行う
7	設定保育だけでなく子どもが自由に遊べる時間が確保されていますか。	A	

2.子どもの発達援助 カ言葉

	評価内容	評価項目ごとの 評価結果	具体的な取組及び考察
1	こどもと心のこもった挨拶を交わしていますか。	A	
2	「ありがとう」「ごめんなさい」などの生活に必要な言葉が自然に使えるように保育していますか。	A	
3	一人ひとりの子どもをよく観察し、その場に適した言葉かけを心がけていますか。	A	
4	正しい言葉使いや声の大きさに配慮して子どもに話かけていますか。	A	
5	子どもの話を最後までゆっくりと聞くように努めていますか。	B	<ul style="list-style-type: none"> • 子どもの気持ちに寄り添い丁寧に対応する
6	話し合いの時にはどの子も自分の意見を言えるように配慮していますか。	B	
7	たくさんの言葉にふれ習得できるような工夫をしていますか。	A	<ul style="list-style-type: none"> • 絵本の読み聞かせ • 言葉のやりとりを楽しむ
8	話をじっくり聞き、内容を理解することの大切さを子どもに伝えていますか。	B	
9	言葉の楽しさや美しさに子どもが気づけるような読み聞かせ方をしていますか。	B	<ul style="list-style-type: none"> • はっきりとした口調、音の強弱などを工夫する

2.子どもの発達援助 キ表現

	評価内容	評価項目ごとの 評価結果	具体的な取組及び考察
1	水、砂、土、粘土など自然の素材に触れて楽しむ機会を多く取り入れていますか。	B	・泥遊びなども多く取り入れる
2	音楽に合わせて歌ったり踊ったりして楽しめるよう援助していますか。	A	
3	五感を使って気づいたり心地よさを感じたりできる機会を作っていますか。	B	
4	道具の正しい使い方を丁寧に教えたり見守ったりしていますか。	B	
5	素材や用具を子どもが自由に取り出せる場所に置くなど工夫をしていますか。	B	・玩具、絵本などの配置を変えて遊んだ後も方付けやすいようにする
6	自分のイメージを言葉などで表現したり演じたりして楽しむ機会を設けていますか。	B	
7	★ごっこ遊びを発展させるのに どのようなことをしていますか。		<ul style="list-style-type: none"> ・「~ちょうだい」などやりとりを多く心がける ・テーブル、いすを使いごっこ遊びが楽しめるようにする

2.子どもの発達援助 ク乳児保育

	評価内容	評価項目ごとの 評価結果	具体的な取組及び考察
1	授乳は抱いて目を合わせたり微笑みかけたりしながらゆっくりと飲ませていますか。	A	
2	離乳食については、家庭と連携をとりながら一人ひとりの子どもの状況に配慮して行っていますか。	A	
3	おむつ交換時には、優しく声をかけたり、スキンシップを行っていますか。	A	
4	一人ひとりの生活リズムに合わせて睡眠をとることができるように配慮していますか。	B	・0歳児は午前寝をして、一日のリズムを調整する
5	外気に触れたり戸外遊びを行う機会を設けていますか。	A	
6	喃語にはゆったりと優しく応えたりふれあい遊びを行っていますか。	A	
7	たて抱き、腹ばいなど子どもが様々な姿勢がとれるようにしていますか。	A	
8	乳児を寝かせる場合は安全に配慮し呼吸のチェックを行い記録をしていますか。	A	
9	事故予防に努めた保育を行っていますか。（入室時のドアの鍵施錠、窓から園庭への出入りなど）	A	
10	継続的に同じ保育士と関わりがもてるよう配慮していますか。	A	

2.子どもの発達援助 ケ長時間保育、延長保育

	評価内容	評価項目ごとの 評価結果	具体的な取組及び考察
1	家庭的な雰囲気を感じられるように配慮していますか。	A	
2	好きなことをしてくつろげる空間や遊具を用意していますか。	A	
3	お迎えが遅い子への不安な気持ちを汲んで対応していますか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・優しい言葉かけをする ・夕方の玩具を日替わりで変え工夫する
4	異年齢の子ども同士が心地よく遊べるように環境を整えていますか。	A	
5	子どもの状況について職員間の引継ぎを適切に行っていますか。	A	
6	勤務時間外の子ども様子を把握するよう努めていますか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングノートの活用

3.保護者に対する支援 ア子どもの成長の喜びを共有

	評価内容	評価項目ごとの 評価結果	具体的な取組及び考察
1	子育てのパートナーとして「保護者の子育てを支援する」という役割を常に意識していますか。	A	
2	保護者の子育てに対する不安や悩みを受け止めて適切に助言、援助していますか。	B	
3	送迎時の身支度の際、さりげなく言葉を交わすなどして話しやすい雰囲気をつくっていますか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・笑顔で対応し、保護者の話を聞く
4	子育ての悩みを話し共感したり支え合ったりする保護者同士のつながりに配慮していますか。	B	

3.保護者に対する支援 イ保育内容の説明・応答責任、個別支援

	評価内容	評価項目ごとの 評価結果	具体的な取組及び考察
1	保護者の考えや提案を積極的に聞いていますか。	B	
2	保護者からの相談内容などを自分一人の問題にしないで、園長に相談していますか。	A	
3	相談は記録し、継続的な支援をしていますか。	B	・職員の共通理解をする
4	連絡帳やホワイトボードなどで日常の子どもの様子を伝えあっていますか。	A	
5	保護者の参加行事では事前にその趣旨を説明し、理解や協力を要請していますか。	B	
6	文化や宗教、習慣を尊重しそれぞれを受け入れ信頼関係が築けるようにしていますか。	B	
7	子どもの体調不良などで保護者に連絡する際、細かい配慮をしていますか。	B	
8	集団生活の中で守らなくてはならないことを保護者にきちんと理解してもらえていますか。	B	・手紙、掲示を利用して伝える
9	クラスの取り組みや計画をお便りなどで保護者に伝え共通理解がもてていますか。	B	

3.保護者に対する支援 ウ関係機関との連携・情報提供

	評価内容	評価項目ごとの 評価結果	具体的な取組及び考察
1	他機関と交流保育をしたり情報交換をする機会を利用していますか。	B	
2	虐待を疑われる子どもの情報を得た時、関係機関に照会、通告を行う義務があることを知っていますか。	A	
3	地域の住民から受けた子育て相談の内容について、連絡・相談すべきところを知っていますか。	A	
4	苦情解決の仕組みを知っていますか。	A	

4.保育を支える組織的基盤 ア健康及び安全の実施体制

	評価内容	評価項目ごとの 評価結果	具体的な取組及び考察
1	子どもの日々の健康状態を把握し保育 していますか。	A	
2	子どもの体調不良やケガなどの 情報 を職員間で共有していますか。	A	
3	保育室の喚起や温度・湿度に配慮して 保育していますか。	A	
4	玩具、遊具は消毒したり衛生面に配慮 し、破損の有無を毎日確認しています か。	A	
5	誤飲を防ぐために玩具の大きさに配慮 していますか。	A	
6	園児が使用する玩具や用具を新しくし たり、製作活動で使用する材料など園 長の許可をとってから使用しています か。	A	
7	施設、設備の安全点検を行い、不具合 の箇所は必要な対策をとっています か。	A	
8	子どもが危険な場所や遊びがわかり安 全に気をつけて行動するよう働きかけ ていますか。	A	
9	交通安全の習慣が身につくように日頃 から指導をしていますか。	A	
10	不審者が侵入してきたとき、自分はど のように対応するかわかっています か。	A	

4. 保育を支える組織的基盤 イ 保育の計画と保育内容の自己評価

	評価内容	評価項目ごとの 評価結果	具体的な取組及び考察
1	子どもを主体とした視点で保育をしていますか。	A	
2	保育課程や保育計画の狙い・内容を理解して保育をしていますか。	B	・職員全員が共通理解をして保育を行うようにする
3	保育計画が適切であったか振り返りを行い改善していますか。	B	
4	職員会議などで保育の質の向上につながる発言をしていますか。	B	・発言しやすい環境を作る
5	話し合いの場で他の職員の発言や意見から気づいたり学んだりすることがありましたか。	A	
6	自分の役割の他、フリー、園長、リーダーの役割を理解していますか。	B	・自分の役割について再確認をする
7	自分が目指す保育者像がありますか。	A	
8	自分の保育実践について園長やリーダーと、保育を語る機会を自らつくっていますか。	B	
9	新採用の職員、あるいは後輩に配慮し、あたたかい人間関係をつくるようにしていますか。	A	
10	自らの保育実践を振り返り、明白になげようと努力をしていますか。	B	

4. 保育を支える組織的基盤 ウ職員の資質向上

	評価内容	評価項目ごとの 評価結果	具体的な取組及び考察
1	保育に関する専門書を読み、保育に関わる知識や技術の向上に努めていますか。	B	・ 保育所保育指針を学ぶ機会を 来年度も行う
2	保育関係の情報に日頃から収集するように心がけていますか。	A	
3	園内研修の計画をしたり積極的に保育の質の向上に努めていますか。	B	
4	保育士の人間性を豊かにするために自己研鑽をしていますか。	B	
5	個人情報の管理を適切に行っていますか。	A	
6	あなたは子どもの最善の利益を尊重した保育をしていますか。	A	